

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和7年6月分)

番号	ご意見	市の考え
1	こんにちは。津市河芸町杜の街で暮らしており4才と9才の子どもの育てている者です。このような意見が出来る機会を作って下さり本当にありがとうございます。 河芸町の近くにあるHOWAパーク、私が暮らしている杜の街、隣にある千里ヶ丘団地の公園に関する事で意見させて頂きたいです。 私の子ども達は公園が大好きで、休日には近所の公園やあちこちの県内や県外にある公園に連れて行っており、子ども達を精神的にも身体的にも健康に育てていく為に公園がある事の重要性を日々感じています。そして気になっているのが河芸町の公園で見かける古くなって使えなくなった遊具にぐるぐる巻きにして貼られている使用禁止と買った黄色いテープです。千里ヶ丘団地には複数の公園がありますが、ある公園はブランコ、滑り台、回転式遊具など全ての遊具にぐるぐる巻に巻かれている所もあります。千里ヶ丘団地は住民の高齢化が進んでおり遊ぶ子ども達が少ないのですが、それでも子どもの同級生は何人も暮らしておりますし、うちの子どもが通っている保育園や小学校も団地内にあり、遊具がちゃんとされていれば園児がさんばに出かける機会もあると思います。テープは巻かれたまま新しい物に交換される気配もなく悲しい公園になっています。県外からも人が沢山集まるHOWAパークにもテープの貼った遊具を見かけます。市外、県外の公園にもよく行きますが、津市以外の他の地域でそんな光景を見かけたことはありません。 小学生の子ども達は何百人と暮らしている杜の街アカシアの丘にある公園にも全ての遊具に使用禁止のテープが貼られていましたが、子ども達に取られたのかどこかへいきました。くるみの丘ひだまり公園のシーソーにも貼られていましたが、子ども達が取ってしまったのか、新しい遊具になることなく修理される訳でもなく何年もその遊具でみんなが遊んでいます。誰が危険と判断してテープを貼っているのか、修理や管理をしているのかも分かっていないのですが、一度現状を見に来てもらいたいです。そして行政に働きかけてもらいたいです。 杜の街は何百人もの子どもが暮らしており、今も沢山の子どもが生まれています。現代の少子化が嘘と思えるような子育て世代が沢山暮らす場所です。子ども達が杜の街内の公園を自転車に乗ってはしごするのも当たり前の光景です。公園には夕方になると沢山の異年齢の子ども達が年齢関係なく遊ぶ昭和の光景が今も見られる貴重	河芸総合支所所管の公園遊具は老朽化しているものが多く、使用中止の遊具については、順次修理をしておりますが、限られた予算の中で修理が追いついていないのが実情です。今後も順番に修理していく予定ですのでご理解をいただきたいと思います。公園遊具の状況については、再度現場確認を行い、使用できるもの、使用できないものが分かるように表示するようにいたします。 また、HOWAパークの遊具は、令和7年3月に修繕を行っており、現在使用禁止にしている遊具はありません。 遊具の点検は専門業者により毎年行っており、老朽化や劣化の状況により危険と判断された遊具については使用禁止の措置を取っています。 平成29年度から国の交付金を活用し、老朽化した遊具の更新事業を行っています。今後も引き続き事業を行い、市民のみなさまに安心して公園を使用していただけるように取り組んでいきたいと考えています。

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和7年6月分)

番号	ご意見	市の考え
	な場所です。(東京から来た知人はその光景を見て驚いていました。)公園は本当に大切な子ども達の社交の場です。幸せに安全に集える公園の点検、危険と判断があるなら新しい遊具の設置や修理をお願いしたいです。 意見を聞いて下さってありがとうございます。	
2	こどもSosの旗など、安心できます。ありがとうございます。ただ、年月が経ってか、ビリビリの旗を立てられている状況もあり、活動されているのか心配になります。少しお金がかかりますが、ボロボロの旗は交換していただくと安心します。西が丘小学校の近くでよく見ます。	「子どもSOSの家」旗事業は、「地域の子どもは地域で守る」という視点に立ち、こどもたちが危害にあいそうになった時に駆け込める家の目印として、また、犯罪の抑止効果のために実施しているもので、小学校やPTAなどのご協力により、市内に約3,000か所設置されています。 新たな設置や古くなった旗の交換のため、毎年、新しい旗を約1,600本配付しており、令和7年度においても、小学校やPTAなどを通じて配付する予定です。
3	子育て支援センターの開所時間を見直してほしい。～17:00(冬期)、18:00(夏期)、ランチルーム設置で12:00～13:00も開所など。在中のスタッフさんも全員が保育士じゃなくていいと思います。	子育て支援センターの開所時間については、公立、私立の各センターにより開所時間の設定は様々で、お昼12時～13時を開所しているセンターも多くあります。 また夕方方の時間については、15時～16時までのセンターがほとんどではありますが、たるみ子育て支援センターがあるたるみ子育て交流館は9時30分から16時30分まで、津市まん中こども館は高校生年代の利用も可能なことから10時～19時まで、お昼も継続して開所しています。乳幼児の親子利用も可能ですので、ぜひご活用ください。 ランチルームの設置につきましては、人員の確保、施設の衛生管理や安全確保等の観点から、慎重な検討が必要であるため、すぐに実施することは難しい状況です。 また、勤務するスタッフの配置につきましても、こどもたちの安全、安心といつでも相談が受けられる体制づくりを第一に考え、保育士資格を持つスタッフを中心に配置しています。これにより、専門的な支援を提供できるよう努めていますが、引き続き効率的な運営方法についても検討を重ねていきます。 今後も市民の皆様の声を大切に、より良いサービスの提供に努めます。 【参考】 津市ホームページ:「「おやこでおでかけ」親子でお出かけができる場所の紹介冊子」 https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1001000000753/index.html

こども・若者、子育て当事者意見ボックス（令和7年6月分）

番号	ご意見	市の考え
4	公園、児童館等、子どもが無料で遊べる施設をもっと作ってほしいです。 もっと歩道を広くしてほしいです。 自転車専用の道を車道の横に作ってほしい。	公園については、これまで都市計画区域、とりわけ市街化区域においては、都市の骨格を形成し、円滑な都市活動を確保するために必要となる都市施設のひとつとして公園を都市計画決定を行い設けているほか、土地区画整理や住宅地造成においても良好な生活環境を形成するための公共施設として公園が設けられてきました。本市の都市公園は令和7年4月現在で552か所あります。そのほか、これまでまちづくりのなかで様々な形でこどもの遊べる場を各地域に設けてきているため、それらの既存の「遊べる場」が利用者にわかりやすくするための情報の発信を検討します。 児童館については、現在、市内に6か所設置されており、これらの施設は無料でご利用いただけます。そのほか、小学生が遊べる施設として「げいのう わんぱーく」および「たるみ子育て交流館」もご利用いただけます。これらの施設を通じて、地域のこどもたちが安全に楽しめる場を提供することを目指しております。現時点では児童館等を新設する計画はございませんが、いただいたご意見を参考に、遊び場の整備について、今後検討を進めていきます。 なお、本市においては、津市こども計画にも掲げる「こどもまんなか社会」の実現に向けて、市全体でこども・若者、子育て当事者に向けた施策等に取り組んでいくため、こども・若者、子育て当事者から直接意見をお聞きしていく「津市こどもまんなか社会実現会議」を作りました。その会議の一つとして、こどもや子育てに関わる人など誰でも参加可能な「こどもの遊び場づくり事業推進会議」を、久居中央スポーツ公園とお城公園において現在開催中で、皆さんからの前向きなアイデアや暮らしに密着したリアルな声を生かして、こどもの遊び場を具体化していきます。津市こども計画に係るアンケート調査においても、今回いただいたご意見と同様に、遊び場についてたくさんのご意見をいただいておりますので、それらを参考に、遊び場の整備について、今後検討を進めていきます。 歩道を広くすることについては、国予算の防災・安全交付金を活用し、通学路安全交通プログラムに基づく交通安全対策、未就学児が日常的に集団で移動する経路における交通安全対策により、子供の移動経路等の生活空間において、歩道拡幅の事業を進めています。自転車専用の道を車道の横に作ることについては、自転車ネットワーク全体の検討対象エリアの設定を津市都市マスタープランにおいて、自転車の通行が多いと考えられる中央部地域を設定しており、路線の選定を自転車利用の主要路線としての役割を担う、公共交通施設・学校・商業施設・観光・レクリエーション施設・主な居住地区等を結ぶ路線で路肩の幅が十分確保されている路線を選定しています。現在は、津駅一身田上津部田線を整備し供用しています。 【参考】

こども・若者、子育て当事者意見ボックス（令和7年6月分）

番号	ご意見	市の考え
		津市ホームページ:「津市こどもまんなか社会実現会議」 https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1742168990839/index.html